



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,479.60	13.36	0.04	-0.80	12.65	30,606.48
NASDAQ	14,069.42	49.09	0.35	1.85	9.16	12,888.28
日経225	28,948.73	-9.83	-0.03	0.02	5.48	27,444.17
上海総合	3,589.75	-21.11	-0.58	-0.06	3.36	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,224.70	-46.76	-0.89	-1.09	0.26	5,211.29
ハンセン	28,842.13	103.25	0.36	-0.26	5.92	27,231.13
中国企業	10,750.95	34.67	0.32	-0.51	0.12	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.3%安と続落、上海総合指数は0.1%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.3%安と続落。米国の量的金融緩和の縮小開始議論が市場の焦点となるなか、5月の米物価統計の発表を前に積極的な買いを見送るムードが広がった。週末11日は8営業日ぶりに反発したものの、端午節の連休を前に節目の29000ポイントに近づく水準では上値の重さが目立った。本土市場では上海総合指数が週間で0.1%安と小幅に続落。全般に方向感に乏しく、節目の3600ポイント付近では上値の重い展開が続いた。「反外国制裁法」の可決で欧米諸国との対立激化も警戒された。

今週の展望:香港市場はもみ合い継続か、FOMCでのテーパリング議論に注目

香港市場はもみ合い継続か。今週の香港市場は14日が端午節で休場のため4日間の取引。米10年債利回りの低下や好調なNY市場は追い風だが、テーパリング開始が警戒されるなか、16日のFOMCの結果発表までは動きにくい状況が続く。テーパリング議論が後退した場合は香港市場にとって追い風となるが、逆に再燃した場合には重しとなりそうだ。本土市場も14日が休場のため4日間の取引。上海総合指数は3600ポイント付近でこう着状態が続いており、新たな材料に乏しいなか、もみ合いが続く公算が大きい。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 信義光能(00968)	15.06	14.96
2 BYD(01211)	214.40	11.72
3 中国海外発展(00688)	19.74	7.28
4 CNOOC(00883)	9.14	7.28
5 瑞声科技(02018)	54.95	6.08
6 ヘトロファイン(00857)	3.57	5.62
7 碧桂園服務(06098)	79.55	4.05
8 創科実業(00669)	140.70	3.76
9 Link REIT(00823)	76.85	3.71
10 石業集団(01093)	12.46	3.66

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 阿里健康(00241)	17.90	-8.95
2 海底捞国际(06862)	39.80	-5.58
3 中国中信(00267)	8.79	-4.77
4 小米集团(01810)	28.15	-4.74
5 舜宇光学科技(02382)	191.40	-4.20
6 中国生物製薬(01177)	8.30	-3.49
7 テンセント(00700)	596.00	-2.53
8 AIAグループ(01299)	95.60	-2.40
9 アリババ集団(09988)	205.20	-2.38
10 香港証券取引所(00388)	468.20	-2.13

▼今週的主要イベント

- 6月14日(月)
- 【中国】端午節で休場
- 【香港】端午節で休場
- 6月15日(火)
- 【米国】FOMC(～16日)
- 6月16日(水)
- 【中国】小売売上高、鉱工業生産(5月)

▼今週の期待材料

- ◆先週末の米10年債利回りは1.45%で終了、米長期債利回りの低下がグロース株の追い風に
- ◆香港で13日の新型コロナ新規感染者が先月末以来となるゼロ、感染収束期待が高まる公算
- ◆NY市場でS&P500指数が連日で終値の過去最高値を更新、好調な海外市場が追い風となる可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆G7サミット共同宣言で台湾海峡について明記、米中対立のさらなる激化に警戒感高まる公算
- ◆15-16日に米FRBがFOMCを開催、テーパリング開始議論への警戒感が高まる可能性も
- ◆中国の5月の自動車販売台数が3.1%減の212万8000台、20年3月以来のマイナス成長に転落

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ カフェ・ド・コラル (00341) : 15日に21年3月本決算発表、市場予想は純利益5倍
- ☆ 香港証券取引所 (00388) : SPACの上場解禁で7-9月期に意見募集開始へ
- ☆ 海南美蘭国際空港 (00357) : 全人代常務委員会で海南自由貿易港法を可決
- ☆ 中国中鉄 (00390) : 大型のインフラ建設24件の受注を発表、受注総額511.5億元
- ☆ 裕元工業 (00551) : 5月の純売上高が6%増加、1-5月の純売上高は20%増
- ☆ ウェイガオ・グループ (01066) : 子会社の「科创板」上場でCSRCの認可取得
- ☆ 華潤置地 (01109) : 5月の不動産販売額が18%増加、賃料収入は47%増
- ☆ Qテクノロジー (01478) : 5月のカメラモジュール出荷量が12%増加
- ☆ 大唐新能源 (01798) : 5月の発電量が28%増加、1-5月は34%増
- ★ 中国平安保険 (02318) : 1-5月の保険料収入が6%減少、5月単月は5%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。